

ご利用者・ご家族アンケート 調査報告書
小規模多機能ホーム吉方温泉いくのさん家

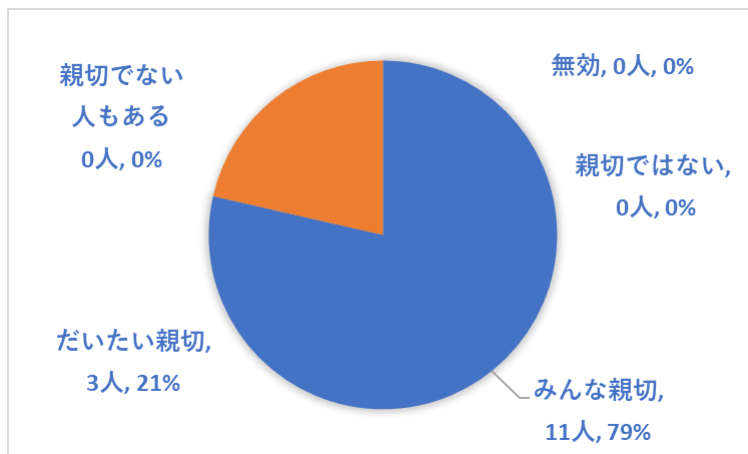
1. 本調査は当事業所の業務改善を目的に、現在ご利用されている全ての方を対象として2020年8～9月に実施しました。
2. 調査票はご利用者本人、ご家族の方、成年後見人等が無記名で回答し、一緒にお渡しした封筒に入れてポストにご投函いただき、回収しました。
3. 集計結果は事業所の業務改善に活かすとともに、運営推進会議の資料として外部の方にも見ていただき、改善についての意見をいただきます。

〈質問1〉

現在ご利用されている事業所名（名称がわからない場合は地名でも結構です）をお答えください。 配布16名中、14名回答 回答率87%

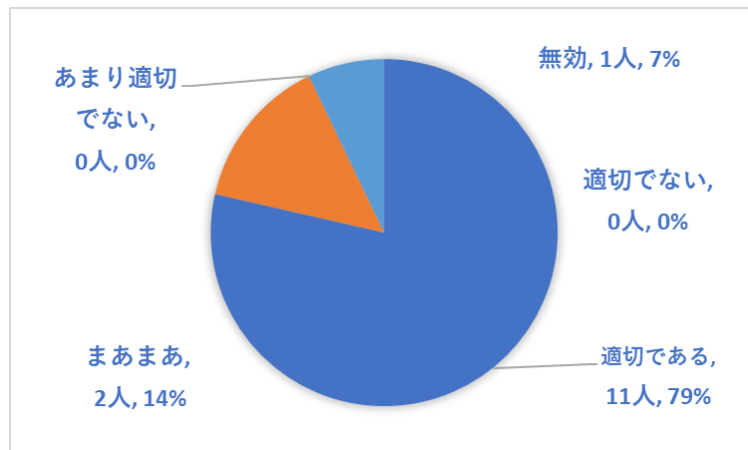
〈質問2〉

事業所の職員は親切ですか？当てはまるものに○をしてください。



〈質問3〉

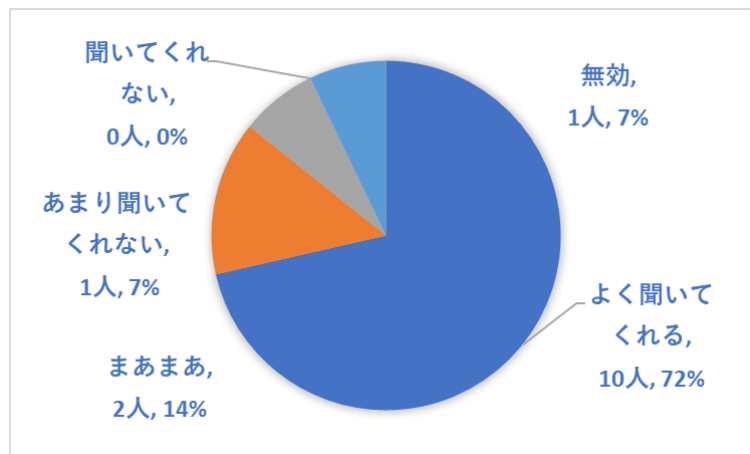
事業所の職員の言葉遣いや態度はいかがですか？



無効1人については、欄外に「人によります」とコメントあり

〈質問 4〉

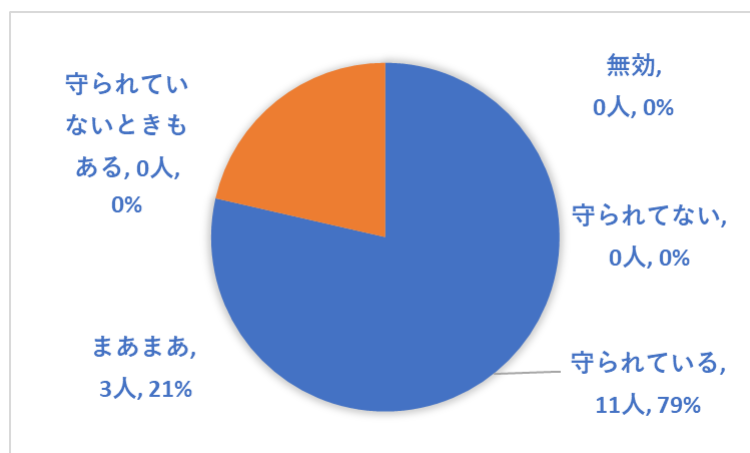
事業所の職員はあなたの悩み事、困り事などを受け止めてくれますか？



無効 1人については、欄外に「言ったことがないからわからない」とコメントあり

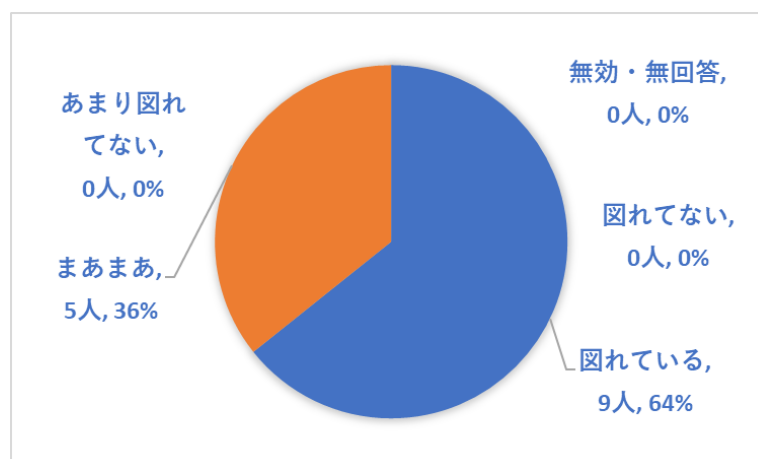
〈質問 5〉

事業所の職員に頼んだこと、お願いしたことはきちんと守られていますか？



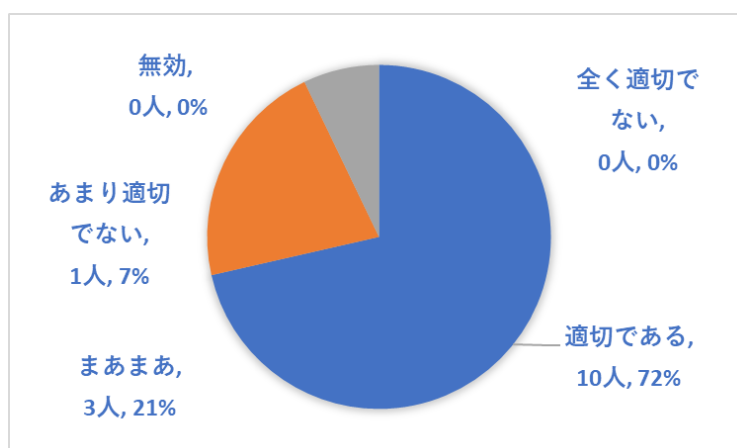
〈質問 6〉

事業所の職員同士は、きちんと情報共有が図れていると思いますか？



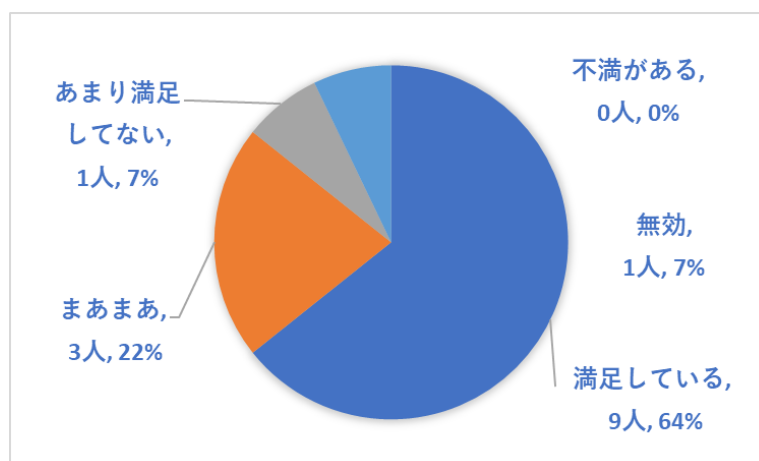
<質問 7>

事業所の職員の、介護技術についてどう思いますか？



<質問 8>

事業所から受けているサービス全般についてどう思われますか？



<自由記述>

普段事業所や職員にお感じになっておられること（気になること、改善してほしいこと、がんばってほしいこと等）をお書きください。 ※下線は竹本

○いつも本当に助けていただいています。少しでも心配な事、不安なことがあると、迷わずに電話で相談させていただいて、必要な時はすぐに動いていただいています。

○訪問時に会話やコミュニケーションをとってもらいたい。

○LINEまたはショートメールを使ったコミュニケーションは今後考えていますか？

○災害時の対応について（同居していない場合）どのようにしてもらえるのか。

○いつも親身になって優しくしていただき有難いです。それだからこそ少し気にかかることがあります。利用中にイレギュラーな事態が起こった時等、マニュアルの確立をはじめ、システムティックにご対応いただけるのかしらと思うことがあります。職員の皆様が元気で安心して長く働いていただけるためにも、職員の皆様お一人お一人の

負担が重くなり過ぎないように願っています。家族にとって、毎回楽しそうに出かけてゆく後ろ姿を見るのは嬉しいです。これからも、職員の皆様も利用者も笑顔で過ごせる、いくのさん家さんらしい介護をよろしくお願いいたします。

○いつもお世話になり助かっています。ありがとうございます。認知症で一人暮らしをしている母がお世話になっていますが、同居していないので、毎日母の様子を見ることは、まだ成人していない子供のいる私にとってはとても負担になることなので、とても助かっています。認知症は症状が進んでいくものなので、常に対応に悩むところがあります。母の変わった様子など報告してくださるのですが、自分も忙しくしていると困っていることがあっても相談できていなかったり、何か良いアイデアや方法が聞けなかったりしているように思っています。

○現在でも母がひとりで暮らせているのは、ひとえにいくのさん家の方々のサポートあってのことで、とても感謝しています。職員の皆様も本当によくしていただいています。ただ、個々のスキルの差があるのも確かです。上手に声掛けして誘導できる方もいれば、「声はかけました。拒絶されたので本日はできませんでした」といって、こちらとしては貴重な数時間の訪問時間をただテレビを一緒に観て過ごすだけの方がいるのも事実です。会話も大切ですが、もう少し工夫していただけるとうれしいです。希望としては、デイサービスに簡単な筋トレなど加えていただけるとうれしいです。

○特にありません。満足しています。

○家でどんな風に過ごしているのか、こっちは知って欲しいと思っているが、知ろうとする気持ちがない方もある。その時だけ支援してあげればいい、という感じ。

○他県に私がいる為、色々と助けていただいています。本当に感謝しています。これからも宜しくお願い致します。

○便の始末をしていただいて、申し訳なく思っています。嫌な思いをされていると思うが、いつも明るく笑顔で接していただいて感謝しています。

○ユマニチュードが実践できると良い（家族も含めて）。

○できるだけ在宅介護は続けていきたいので、助言をいただきたいし、協力していただきたい。

○介護している家族の心情をもう少し理解して欲しい。

○夏になっていつも外に出て行ってしまいうちに常に付き添って頂き感謝しています。有難うございます。

○苦情ではなく一緒に考えて欲しいという気持ちで相談しているが、身構えられるときがある。

○母が入院する際、いくのさん家との連携により無事入院させることができ、機器の取り換えができ感謝しています。母の性格から今の介護方法がベターと思うが、寄る年波に勝てず寝たきりになった場合、家族としての対処方法に不安がある。

○一日の過ごし方を見た訳ではないので適切であると信じます。体操に関しては大腿骨の手術をしている事を念頭において指導してください。連絡帳の文字を少し大き目でお願ひします。

以上